



BRT・連節バスの導入は必要だったのか

市はBRTについて、「朝夕のピーク時に乗客の乗りこぼしをなくすためには、一般バスの2倍の輸送力がある連節バスの導入が必要」としてきました。

党議員団は、これまでの実績を見れば連節バス導入は不要であり、今後さらに4台導入することはまったく必要ないと指摘しました。

専用走行路の設置について市民の声を聞くべき

市はバス専用走行路の設置目的について「新潟駅・万代地区と古町を結ぶ軸として、より早く、正確な時間に到着するシステム」としています。党議員団は、7億2千万円もかけてまで、新潟駅から古町まで「より早く、より正確な時間」を望んでいるかどうか、市民の声を聞く必要があると追及しました。

他会派が市民の陳情を締め出しへ

議会運営委員会で、市民からの陳情を制限する9項目の「申し合わせ事項」が提案されました。日本共産党議員団は、議会基本条例に反し、市民の意見を切り捨て、議会の役割を否定するものだと反対しましたが、自民系会派と民進、公明の賛成で承認されました。



日本共産党市議団の論戦

力をあわせ

市民の声が生かされる市政に

健幸すまいリフォーム 助成を拡充

日本共産党議員団は、健幸すまいリフォーム助成の拡充をくりかえし求めてきました。新年度予算では、従来の子育て世帯に加え、60歳以上の方がいる世帯も助成対象とされ、予算額は1億円に拡充されました。

就学援助の入学準備金 小学校も入学前支給へ

中学校入学の学用品費は、昨年から入学前の3月支給に改善されましたが、小学校は入学後の8月支給のままであり、日本共産党議員団は中学校と同様に支給時期の改善をはかるよう求めました。

教育長は「実施に向けて検討していきます」と答弁。市民の声と党議員団の論戦が市政を動かしました。



臨時・非常勤職員の 時給がアップ

市の職員1万2千人余のうち、非正規職員の割合は4割をこえています。日本共産党議員団は、市役所が官製ワーキングプアを増やしている」と指摘し、臨時・非常勤職員の待遇改善をくりかえし求めてきました。

新年度予算では、臨時・非常勤職員の賃金が2年連続のアップとなりました。しかし、多くの非正規職員の賃金は最低賃金をわずかに上回る程度で、一時金も経験加算もなく、党議員団は引き続き待遇改善を求めています。

予算議会

建設的な提案で 市政をうごかす

正規雇用をふやし 地域経済の活性化を

日本共産党議員団は、正規雇用を増やすことが消費の拡大、地域経済の活性化につながる」として、市の正規職員の増員とともに、民間企業の非正規職員の正規雇用化を市が支援すべきだと追及しました。



保育園の増設で 待機児童をゼロに

「第5希望まで書いたが、保育園に入れなかった」「兄弟が別々の保育園になった」などのケースが続出しています。

日本共産党議員団は、保育園を増設し、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備すべきだと主張しました。



市議会議員

いがらし 空

